詳しい内容は、市ホームページで読むことができます。

宇城市HP・トピックス

「当尾小学校女子ハンドボール部」全国小学生大会にチャレンジ

力を一つに全国大会の舞台へ

6/29　当尾小女子ハンドボール部の6年生12人が市役所を訪れ、平岡和徳教育長に県大会優勝と全国大会出場を報告しました。

　同部は、6月16・17日に山鹿市総合体育館で開催された県小学生選手権大会に出場。決勝ではHC宇土に11対6で勝利し見事優勝しました。8月2日(木)から京都府京田辺市で開催される「第31回全国小学生大会」に県代表として出場します。主将の小田原幸穂さんは「一人一人がベストを尽くして、チームが一つになって優勝できるように頑張ります」と意気込みを語りました。

一つになって頑張ります！

宇城市出身の後生川礼子さん、図書館に著書を寄贈

自身の経験を生かして悩んでいる人を一人でも減らしたい

6/13　松橋町出身でうつ克服専門カウンセラーの後生川礼子さん＝熊本市＝が市役所を訪れ、平岡和徳教育長に著書を贈呈しました。

　後生川さんは、看護師の仕事と家庭を両立する中で、重度のうつ病を発症しましたが、生活習慣の改善など薬に依存しない方法を試行錯誤し、克服。同じように悩んでいる人を一人でも減らしたいと起業し、現在はカウンセリングのほか、執筆活動や講演にも力を入れています。今回市に寄贈された本は、「うつの常識を疑ってみよう」など3作。図書館全館で読むことができます。

平岡教育長に著書を手渡した後生川さん(右)

戸馳神社夏越祭

茅の輪をくぐって無病息災

八の字にくぐって無病息災を願います

6/30　三角町の戸馳神社で地域住民など約30人が参加し、夏越祭が執り行われました。これは、一年のちょうど半分のこの日、今年前半のけがれを清め、残り半年の無病息災を祈る神事。同神社では約30年前から行われています。

　参加者は参道に茅を編んで造られた高さ約2mの茅の輪を八の字にくぐり、無病息災を願いました。また、参加者には直径10cmほどの小さな茅の輪の腕輪も配られました。参加者の一人は「夏越祭を迎えると、夏本番という気持ちになる。今年も健康に過ごしたい」と話していました。

父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン

牛乳をたくさん飲んで消費拡大

牛乳を手渡す宮田さん(中央)

6/14　JAうき酪農女性部の宮田順子部長＝松橋町＝ら2人が父の日を前に市役所を訪れ、守田憲史市長に牛乳を贈りました。これは、牛乳の消費拡大とPRを目的とした「父の日に牛乳を贈ろう！キャンペーン」の一環。同キャンペーンは1998年に熊本県で始まったもので、現在では全国に広がっています。宮田部長は「松橋町の酪農家は10軒程度に減り、後継者不足のところも多いが、牛乳の消費拡大に取り組んでいきたい」と話しました。守田市長は「これからもおいしい牛乳が飲めるよう頑張ってください」と応援しました。

2018うき緩和ケアフォーラム

地域で支える緩和ケアを

がんと緩和ケアについて分かりやすく講演

6/30　うき緩和ケアフォーラムが、ラポートで開かれ、関係者や住民など約300人が参加しました。がんと向き合い、共に支え合う社会を目指そうと国立病院機構熊本南病院が主催したもの。第1部では、イエズスの聖心病院(熊本市)の木村哲也院長が同病院での外来・訪問診療・入院を一体とする取り組みや緩和ケア病棟について講話し、聴衆は熱心に聞き入っていました。第2部では5人のパネリストが保健、教育などの立場から緩和ケアを取り巻く状況や対策などについて、それぞれの立場から意見を交わしました。

宇城市陸上競技協会主催「宇城市民チャレンジ陸上大会」

自己記録の更新を目指して

6/17　松橋高校グラウンドで県民体育祭の選考会を兼ねた「宇城市民チャレンジ陸上大会」が開催され、市内の陸上競技愛好者101人が参加しました。陸上競技の普及や競技本来の楽しさを味わいながら、参加者同士の交流を図るために毎年開催。

　選手たちは、日頃の練習の成果を発揮しようと、トラック競技や走り幅跳びなどのフィールド競技に挑みました。1,500m走に出場した橋本洋悟さん(50)＝松橋町＝は「昨年の自己記録を超えられるよう頑張った。周りの声援のおかげで、楽しく走ることができた」と笑顔で話していました。

懸命にトラックを駆け抜ける子どもたち

・まちのわだい・

第1回宇城写真四団体合同写真展

仲間と楽しく写真を撮ろう

7/3～8　第1回宇城写真四団体合同写真展が不知火美術館で開かれました。宇城市文化協会に所属する市内4つの写真団体、豊野フォトクラブ、小川フォトクラブ、松橋カメラード、宇城写友会が合同で開催したもので、会員26人の作品85点が展示されました。

　宇城写友会の上村博孝代表(72)＝松橋町＝は「宇城市民文化祭の一環として、文化協会所属の4団体が初めて合同で写真展を開いた。互いを先生として、楽しく写真を撮り、良いところを伸ばしていく活動をしていきたい」と話していました。

素晴らしい写真に見入っていました

三角西港ファン倶楽部が清掃活動

美しい三角西港で世界文化遺産をアピール

はしごを掛け、雑草を刈り取りました

7/1　三角西港一帯でボランティアによる清掃活動が実施されました。地元住民や建築士会、観光ボランティアなどでつくる「三角西港ファン倶楽部」(会長・伊藤重剛(じゅうこう)熊本大名誉教授)が毎年行っているもので、約20人が参加。石積みの排水路に生えた雑草を刈り取ったり、道路の清掃を行ったり汗を流しました。伊藤会長は「三角西港をきれいな状態で見てもらいたい。天草市の﨑津集落が世界文化遺産として登録されることが決定したこともあり、﨑津と連携するなど積極的に同港をアピールしていく必要がある」と話しました。

不知火中で職業講話

中学生の君たちに伝えたいこと

自らの体験を基にメッセージを伝える神原さん

7/5　工作機械技術者として黄綬褒章を受章した神原一孝(かんばらかずたか)さん(52)＝不知火町＝が不知火中で1・2年生に講話を行いました。これは、将来社会人として自立していくことができるヒントになればと開かれた職業講話の一環。多くの特許を取得している神原さんは「仕事の改善や効率化、正確化のために自分で一から機械を作るようになった結果、現代の名工に選ばれたと思う」と語りました。また、「一生懸命取り組んだことは無駄にはならない。どんどん失敗して次に生かしてほしい」などとメッセージを伝えました。

宇城市「少年の主張」大会

今、心に思い考えていること、伝えたいこと

7/1　中央公民館で「少年の主張」大会が開催されました。これは、人格を形成する重要な時期である中学生の社会的な自立向上などを目的に毎年開催されているもの。市青少年育成市民会議・市教育委員会の主催。この日は、審査員長の平岡和徳教育長が「この発表を通じて、大人も次世代を担う中学生の健全育成に対する関心を高めていきたい」とあいさつ。市内の中学校5校378作品の応募の中から選ばれた代表5人が、自分の経験から気付いたことや夢に向かっての決意、家族や友人などへの感謝の気持ちを力強く発表しました。

代表として堂々と意見を発表しました

第68回「社会を明るくする運動」強化月間

犯罪や非行を防止し、立ち直りを地域で支えよう

7/6　「社会を明るくする運動」の強調・再犯防止啓発月間に合わせて、啓発パレードが市内で行われました。

　出発式では、宇城市保護司会の島村純孝(すみたか)会長が守田憲史市長に、同運動の中央推進委員会委員長の安倍晋三内閣総理大臣からのメッセージを伝達。自身も保護司を務める守田市長は、「皆さんと一緒に地域の人々の『地域のチカラ』を結集しながら運動を推進し、犯罪のない明るい社会を築くための運動を展開していきます」と力強く宣言しました。

伝達を受ける守田市長(左)

「くまレレ。vol.8」　三角東港「海のピラミッド」で開催

ウクレレの輪を広げよう

ウクレレの音色を楽しもうと大勢の人が集まりました

7/1　三角町の海のピラミッドでウクレレ愛好家らによるイベント「くまレレ。vol.8」が開かれました。ウクレレの輪を広げようと同実行委員会(ボンボ藤井委員長)が主催したもので、市内では初開催。ステージでは、県内のウクレレ教室の生徒や県外のグループなど約30団体200人が、優しい音色を披露しました。広場では、宇城青年会議所による「南国屋台」などの屋台も並び、イベントを盛り上げていました。演奏を披露した野口美保さん(43)＝松橋町＝は「市内でもウクレレが浸透し、地域のにぎわいにつながれば」と話しました。

「御領第2復興住宅」完成内覧会

真新しい部屋を見学

多くの人が内覧に訪れました

7/14　市が建設を進める熊本地震の被災者向け災害公営住宅のうち不知火町の「御領第2復興住宅」10戸が完成し、内覧会がありました。公募で選んだ民間事業者が整備した建物を自治体が買い取る、「土地建物提案型」の災害公営住宅では県内初の完成。住宅は鉄骨プレハブ2階建ての2棟で、1戸の広さは57㎡の2LDK。手すりなどを設置し、高齢者にも配慮されています。内覧会では、関係者など約60人が参加し、完成を祝いました。入居予定の70代女性は「苦しい思いもしたが、立派な家に明るい気持ちになった。感謝したい」と微笑んでいました。

地域の行事や隠れた魅力などをリポート　広報特派員リポート　池田 隆幸特派員　編

曲野長谷川仮設団地みんなの家で第１回ミニ・サロン開催

仮設団地の住民と近隣住民の顔の見える関係づくりを

７月５日、松橋町の曲野長谷川仮設団地のみんなの家で開かれたミニ･サロンに参加してきました。

あいにくの雨にも関わらず、仮設団地の住民や近隣住民など 20 人を超える人が集まりました。

参加者は、サックスの生演奏や趣向が凝らされたマジックショーを楽しみ、余興を楽しんでいました。

昭和の流行歌、「いつでも夢を」や「天城越え」が演奏されると、会場からは一斉に大きな拍手と歓声が湧き起こりました。

続いて地元の「RK コンビ」によるマジックショーが始まると、今まで見たことのないようなマジックに、参加者は口々に「不思議ね～」と驚き、くぎ付けになっていました。

参加者全員の自己紹介も行われ、お互いを知る良い機会になりました。

皆でよく知る曲を聴き、不思議なマジックを見るという共通体験は、仮設団地での生活を送る皆さんに、ひとときの笑顔をもたらし、癒やしの時間になったと思います。民生委員さんも「とても良い時間を過ごせ、明日への大きな活力になった。ぜひこのような機会をまた実施して欲しい」と笑顔で話していました。

「ドリーム・アンサンブル」の皆さん

出演者全員でハイ！ポーズ！

第14回宇城市三角 B&G 会長杯柔道大会

柔道を通じて健やかに育て

7/8　宇城市三角 B&G 海洋センターで、「宇城市三角 B&G 会長杯柔道大会」が開催されました。

この大会は、柔道を通した子どもたちの健全育成と親睦を目的に開かれているもので、市教育委員会の主催。団体戦と個人戦が行われ、市内外から小学生以下の男女約240人が参加しました。

10チームが参加した団体戦は、1試合2分間の5人制で、1年生から6年生までが出場し、熱戦を繰り広げました。学年別の個人戦では、3人抜きをした選手に敢闘賞の賞状とメダルが贈呈されていました。

真剣なまなざしで　互いに一瞬のチャンスをうかがう

宇城市・宇土市・美里町の3首長が共同で「よかボス」宣言

ワーク・ライフ・バランスの推進を目指して

宣言文を読み上げる守田市長

7/13　宇城広域連合で宇城市・宇土市・美里町の宇城地域2市1町の3首長が共同で「よかボス」宣言をしました。

「よかボス」とは、県が推進する「自ら仕事と生活の充実に取り組むとともに、共に働く社員や従業員、職員などの仕事と生活の充実を応援するボス」のこと。地域全体で共同宣言したのは県内で初めてのことです。

宇城地域が一体となって、働きやすい職場を増やすなど、宇城地域住民の総幸福量の最大化と地域の活性化を目指していきます。

松橋支援学校高等部専門学科作業製品販売会

自立と社会参加を目指して

7/13　イオンモール宇城で、松橋支援学校高等部専門学科の「作業製品販売会」が開催されました。

これは、生徒の卒業後の社会生活や職業生活に必要な働く態度や技能を身に付けることを目的とした作業学習で作った製品を、生徒自ら販売するものです。

会場には、工芸のスツールやミニ盆、写真立てなど温かみのある木製品が並び、園芸では花の苗や野菜のほか、寄せ植えの作品なども販売。多くの人が買い物を楽しんでいました。

木製のスツール（腰掛け）も大人気でした